

(案)

「海洋乱流の観測およびモデリングに関する研究集会」2022年度プログラム

(北海道大学低温科学研究所共同利用研究集会)

北海道大学低温科学研究所講堂(研究棟新館3階)およびオンラインのハイブリッド開催

※ 論文等未発表の内容も含まれるため、録画しない等の配慮をお願いします

○現地接続テスト: 当日(8:30以降及び昼休み)【調整中】

○発表時間の横に*印がついているものはオンライン発表です。

11月28日(月) 午前の部 座長: 古市(前半) / 牛島(後半)

9:10-9:15	趣旨説明
9:15-9:45	Subinertial な外部潮汐から内部潮汐へのエネルギー変換率 ○田中祐希(福井県立大学)
9:45-10:15	ビンセンス湾沖の深層で観測された厚い貫入構造について ○伊地知敬(東京大学)
10:15-10:45	内部波相互作用による水温躍層下部の乱流混合について ○本間 光(水産機構)
	(休憩 15分)
11:00-11:30	西部北太平洋亜寒帯域における乱流計搭載フロートによる長期乱流観測 ○佐々木雄亮・安田一郎(東京大学大気海洋研究所)・山木謙(鶴見精機)・杉江恒二(JAMSTEC)・瀬瀬慎也(JAMSTEC)
11:30-12:00	Phytoplankton responses to iron, macro-nutrient fluxes in the western North Pacific ○Deng Huailin(低温研), Jun Nishioka, Koji Suzuki, Ichiro Yasuda

11月28日(月) 午後の部 座長: 田中(前半) / 堤(後半)

13:30-14:00	夏季~秋季の三陸沿岸における津軽暖流と内部波、乱流混合(新青丸KS-22-11航海の結果速報) ○堤英輔(鹿大水産/東大大気海洋研)・伊藤幸彦・伊藤進一・柴野良太・矢部いつか・増永英治・井上龍一郎
14:00-14:30	渦解像海洋モデルにおける西部北太平洋の冬季混合層深度 ○牛島悠介(気象業務支援センター)・坂本圭・中野英之・水田亮・辻野博之(気象研)
14:30-15:00	海面加熱時のLangmuir乱流が混合層深度に与える影響のパラメータ依存性に関する数値実験 ○吉川浩一朗(京大院理)・吉川裕・牛島悠介
15:00-15:30 *オンライン	ラングミュア乱流によるマイクロプラスチック粒子分散過程のLES ○松村義正(東京大学大気海洋研究所)

(案)

	休憩 (15分)
15:45-16:15 *オンライン	潮汐で駆動される底層乱流による懸濁粒子分布の時間変化に関する数値実験 ○西野圭佑 (電中研) ・吉川裕
16:15-16:45	利根川沖周辺における懸濁粒子動態に関する現場観測 ○古市尚基 (水産機構)
16:45-17:15	渦対の数値シミュレーション：鳴門海峡の渦対への地形と密度成層の効果 ○中村知裕 (低温研) ・山口卓也・中田聡史・松村義正
17:15-18:15	総合討論

<参加者の皆さんへのお願い>

○会場で参加される方へ

- ・体調不良や発熱の場合は参加をご遠慮ください。
- ・建物内でのマスク着用, 玄関での手指消毒・検温にご協力ください。また, 会場内では十分間隔をあけてご着席ください。
- ・換気のため窓を開放する場合があります。温度調節のしやすい服装でお越しください。
- ・会場内での茶菓のサービスは控えさせていただきます。会場内での飲食は必要最低限でお願いします。マスクを外した状態での会話はお控えください。
- ・懇親会…検討中

○オンラインで参加される方へ

- ・事前にご連絡いただいた方には, 別途, 接続情報をメールでお知らせします。
- ・直前や当日にご連絡いただいた場合, すぐに対応できない可能性もあります。余裕をもってご連絡いただくと助かります。接続情報はウェブサイトやメーリングリストでは公開しません。
- ・ノイズやハウリングを防ぐため, 発言時以外はマイクのミュートをお願いします。